

# パリ協定に基づく長期低排出発展戦略 の検討状況及び今後の予定について

外務省 経済産業省 環境省

# パリ協定における長期戦略の位置づけ

○パリ協定は、「2 目標」や今世紀後半(2050年以降)に世界全体の排出量と吸収のバランスを達成すること等を目標

○この目標達成のため、全ての締約国が長期戦略を作成するよう努力することとされている。(2015年のCOP21決定で2020年までに提出するよう求められている。)

○2016年のG7伊勢志摩サミットにおいて、2020年の期限に十分先立っての策定にコミット。G7各国のうち、米、加、独、仏、英が策定・提出済(未提出国は日・伊の2カ国)。

# 平成30年6月4日 未来投資会議における総理発言

- I 2012年と比べて、ESG投資は1,000兆円以上増加。グリーンボンド発行量は50倍に拡大するなど、世界の資金の流れが大きく変わりつつあります。もはや温暖化対策は、企業にとってコストではない。競争力の源泉であります。環境問題への対応に積極的な企業に、世界中から資金が集まり、次なる成長と更なる対策が可能となる。正に環境と成長の好循環とも呼ぶべき変化が、この5年余りの間に、世界規模で、ものすごいスピードで進んでいます。
  
- I これまで温暖化対策と言えば、国が主導して義務的な対応を求めるものでした。しかし、2050年を視野に脱炭素化を牽引していくためには、こうしたやり方では対応できない。環境と成長の好循環をどんどん回転させ、ビジネス主導の技術革新を促す形へと、パラダイム転換が求められています。
  - 第一に、従来型の規制でなく、情報開示・見える化を進めることで、グリーン・ファイナンスを活性化する。
  - 第二に、途上国などでも、公的資金中心の支援から、民間ファイナンスによるビジネス主導に転換することで、地球規模の対策を推進する。
  - 第三に、革新的なイノベーションに向かって、野心的な目標を掲げ、官も民も、さらには、日・米・欧、世界中の叡智を結集する。
  
- I こうした方向性の下、パリ協定に基づく長期戦略策定に向け、金融界、経済界、学界など各界の有識者にお集まりいただき、これまでの常識にとらわれない新たなビジョン策定のため、有識者会議を設置するとともに、その下で、関係省庁は連携して検討作業を加速してください。

# パリ協定長期成長戦略懇談会について

平成30年6月4日の未来投資会議において、総理から、パリ協定に基づく長期戦略策定に向け、金融界、経済界、学界など各界の有識者にお集まりいただき、これまでの常識にとらわれない新たなビジョン策定のため、有識者会議を設置するとともに、その下で、関係省庁は連携して検討作業を加速するよう指示。

「未来投資戦略2018」（平成30年6月15日閣議決定）においても、平成31年のG20議長国として、環境と経済成長との好循環を実現し、世界のエネルギー転換・脱炭素化を牽引する決意の下、成長戦略として、パリ協定に基づく、温室効果ガスの低排出型の経済・社会の発展のための長期戦略を策定することとされた。

長期戦略に関する基本的考え方について議論を行うため、パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略策定に向けた懇談会（パリ協定長期成長戦略懇談会）を開催。

## 構成員名簿（五十音順、敬称略）

- ・内山田 竹志 トヨタ自動車株式会社代表取締役会長
- ・枝廣 淳子 大学院大学至善館教授、有限会社イーズ代表取締役
- ・北岡 伸一 東京大学名誉教授、独立行政法人国際協力機構理事長 【座長】
- ・進藤 孝生 新日鐵住金株式会社代表取締役社長
- ・隅 修三 東京海上ホールディングス株式会社取締役会長
- ・高村 ゆかり 東京大学国際高等研究所サステイナビリティ学連携研究機構教授
- ・中西 宏明 一般社団法人日本経済団体連合会会長
- ・水野 弘道 国連責任投資原則協会理事、年金積立金管理運用独立行政法人理事兼CIO
- ・森 雅志 富山市長
- ・安井 至 東京大学名誉教授、元国際連合大学副学長、一般財団法人持続性推進機構理事長

# 懇談会の開催実績について

- ・ 2018年8月から、これまで4回開催。
- ・ 今後は、提言案の取りまとめに向けた検討を予定。

## 開催実績

### 第1回（8月3日）

- ・ 議題：懇談会の運営等について、委員からの発言
- ・ 出席者：各委員、総理、官房長官、環境大臣等

### 第2回（9月4日）

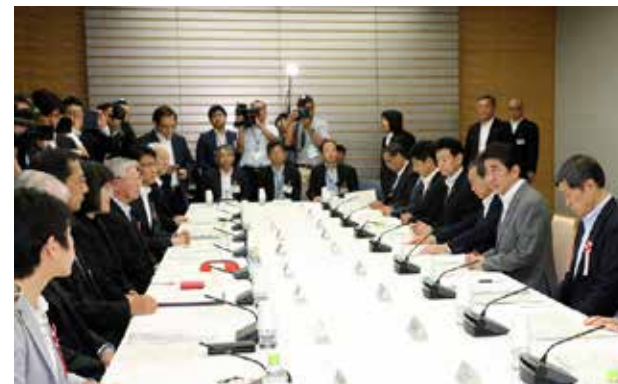
- ・ 議題：各省大臣等からの説明、  
外部有識者ヒアリング（「イノベーション」）、意見交換
- ・ 出席者：各委員、外部有識者、環境大臣、経済産業大臣等

### 第3回（11月19日）

- ・ 議題：有識者ヒアリング（「グリーンファイナンス」、「グリーンビジネス・海外展開」、「地域」）、意見交換
- ・ 出席者：各委員、外部有識者、環境大臣、経済産業大臣等

### 第4回（12月21日）

- ・ 議事：提言案取りまとめに向けたフリーディスカッション
- ・ 出席者：各委員、官房長官、環境大臣、外務大臣、経済産業大臣等



（第1回の様子）

## 今後の議題（予定）

提言案のとりまとめに向けた検討

# 懇談会におけるこれまでの議論について

- ・委員からの主な意見は以下の通り。

第4回懇談会に提出のフリーディスカッションペーパー及び第4回懇談会での委員意見から抜粋し作成。

## 1．温暖化対策をめぐる最近の状況

## 2．長期戦略の策定に当たっての視点

長期的なビジョン・ゴールの必要性  
長期戦略の方向性（環境と成長の好循環、SDGs、スピード感）

## 3．我が国全体の長期的なビジョン

## 4．各分野の長期的なビジョン、対策・施策

エネルギー（電力、水素、再生可能エネルギー、分散型エネルギーシステム、石炭火力、CCUS）  
産業  
運輸  
地域・暮らし

## 5．分野横断的な対策・施策

イノベーション（分野横断的なイノベーションの必要性、社会実装・普及のためのイノベーション、政策の方向性、科学的レビューメカニズム）  
グリーン・ファイナンス（グリーンファイナンスの重要性、政策の方向性）  
ビジネス主導の国際展開（ビジネス主導の国際展開の重要性、政策の方向性）  
その他